



2011.10.11

博報堂生活総合研究所 「日本の母子手帳を変えよう」プロジェクト

子育て課題解決を応援！ 全国の生活者の声をもとに開発した新・母子手帳を全国へ

博報堂生活総合研究所が開発した 「新・母子健康手帳」、 全国34の自治体で使用が始まっています

博報堂生活総合研究所「新・母子健康手帳」(通称：親子健康手帳)

核家族化、共働き世帯の増加、小児科医不足、産後うつ…。日本の子育てを取り巻く環境は急激に変化し、新たな社会課題が噴出しています。

博報堂生活総合研究所(以下、博報堂生活総研)では、このような課題解決に母子手帳を活用できるのではないかと考え、「日本の母子手帳を変えよう」プロジェクトを2010年より実施しております。全国の父母や医療機関へのインタビュー、国内外の先進的な母子手帳の研究などを通じて、今の時代に必要と思われる「健康カルテ」機能、「癒し励まし」機能、「男女共育」機能や、記入しやすく親しみをもてるデザインなどを採用し、2011年3月に完成しました。

この手帳を使用していただけの自治体の募集を行っていましたが、この秋より、新たに全国32自治体で使用が開始されました。今年4月からすでに使用が始まっていた島根県海士町、栃木県茂木町とあわせて、現在34自治体でご使用いただいています。



〈使用実績〉

- 2011年4月より島根県海士町と栃木県茂木町で使用開始
- 2011年秋より新たに32自治体で使用開始
- このほか、東日本大震災で被災され母子手帳配布が困難になった5自治体に無償提供を実施

〈受賞歴〉

- 「第5回キッズデザイン賞」ソーシャルキッズサポート部門審査委員長特別賞
- 「2011年度グッドデザイン賞」

自治体からのフィードバックを活かし、さらなる改良に取り組みます

ご使用いただいている34自治体からは、使い勝手に関するモニター結果をフィードバックしていただきます。2012年は厚生労働省奨励様式の変更が検討され、10年ぶりの母子手帳改正が行われるタイミングであり、その改正内容とフィードバックの声を反映し、2012年4月からの使用分のさらなる改良を行う予定です。

なお、2012年4月からの使用をご希望される自治体からの予約も受け付けております。

【新・母子手帳に関するお問合せ】

【報道関係者様からのお問合せ】

【プロジェクトの詳細】

博報堂生活総合研究所

博報堂広報室

<http://mamasnote.jp>

筧・小林

山野・藤井

TEL：03-6441-6450

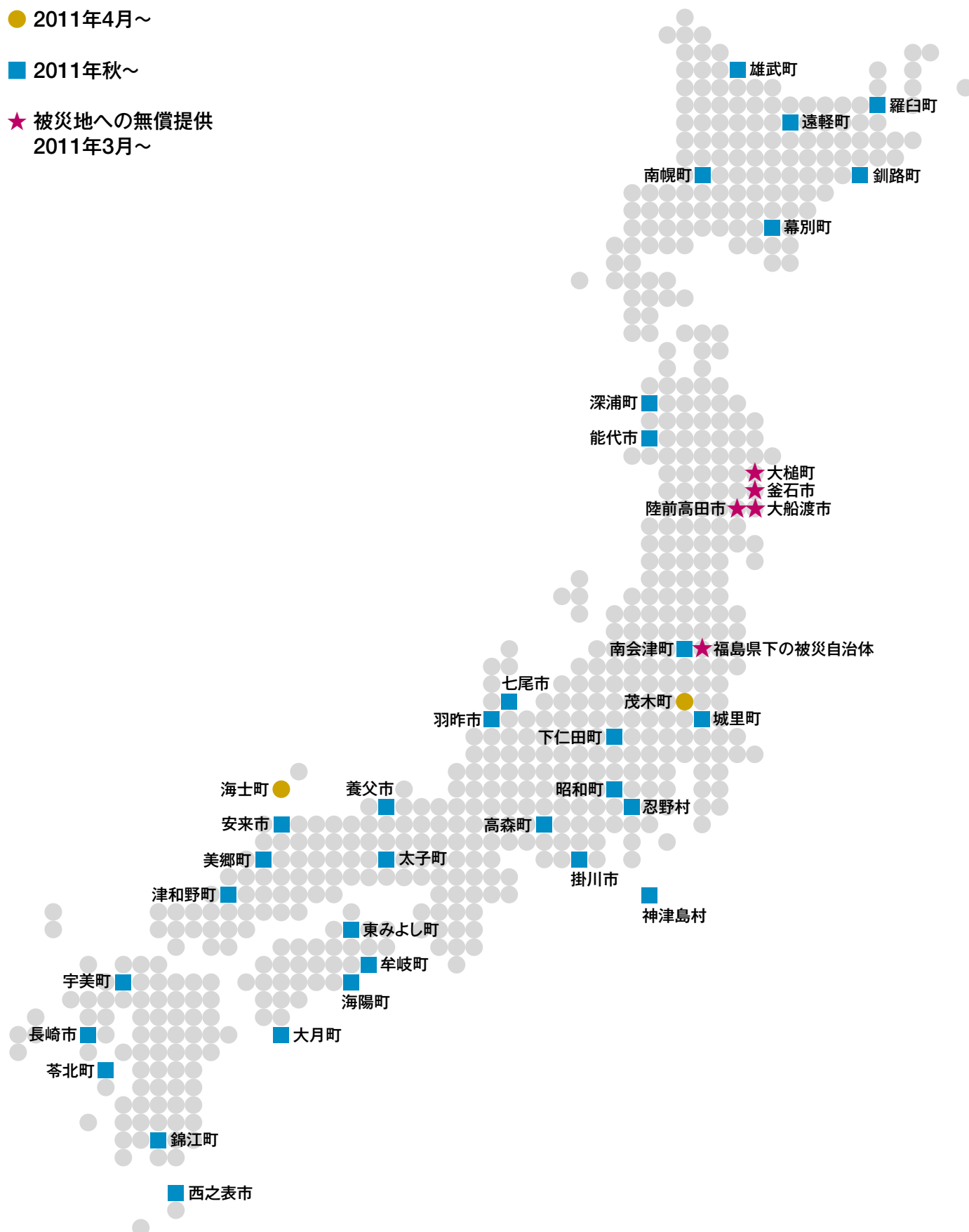
TEL：03-6441-6161

参考資料 「親子健康手帳」使用決定自治体

● 2011年4月～

■ 2011年秋～

★ 被災地への無償提供
2011年3月～



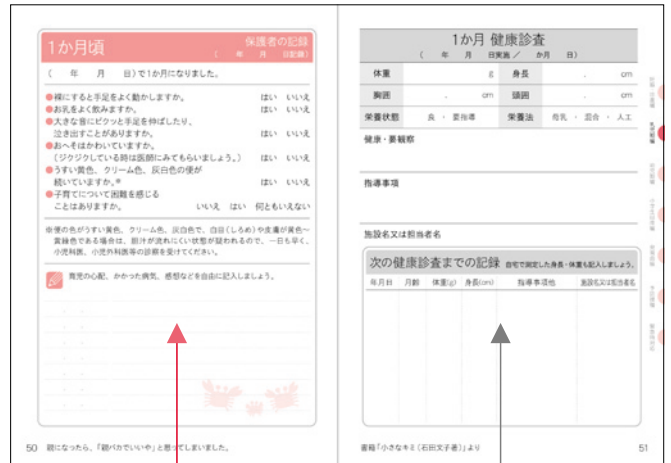
「親子健康手帳」の5つの特長

① 子どもの医療歴やお薬歴を成人まで残す【健康カルテ】機能

アイデア 01 成長と健康の記録ページ



アイデア 02 色とイラストで記録を促すデザイン



ピンク（両親が記録）

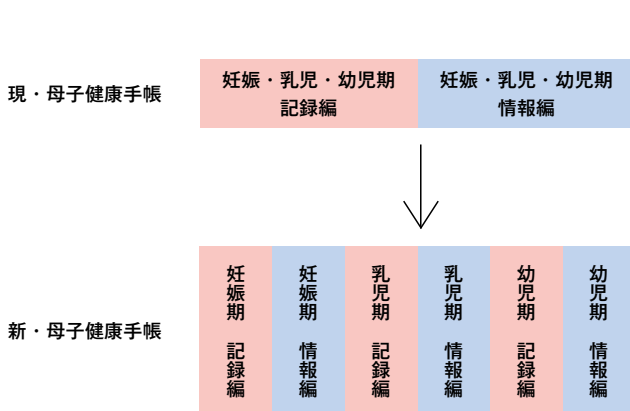
グレー（医療関係者が記録）

アイデア 03 予防接種ページの充実



② 必要な情報を厳選し読みやすく編集している【必見必読】機能

アイデア 04 時期別の知識提供



アイデア 05 キーワード+平易な文章



アイデア 06 時期別カレンダー

妊娠・出産期、乳児期、幼児期の各時期の必須知識をカレンダーで説明

③ 育児の喜びを増やし不安を減らす【癒し励まし】機能

アイデア 07 お祝いの寄せ書きページ



アイデア 08 オリジナル記念日カレンダー



アイデア 09 育児の名言

お母さんを支え、癒してくれる素敵な一言（偉人の言葉、先輩ママの声など）

④ お母さんだけでなくお父さんも参加できる【男女共育】機能

アイデア 10 パパの心得

子育てに参加するお父さんの必須知識

アイデア 11 親子健康手帳化

「母子」ではなく「親子」のための健康手帳

⑤ 知識・経験を伝え 次の親を育てる【育次】機能

アイデア 12 活用期間の延長

妊娠・出産期、乳児期、幼児期に加えて、小学生以降も記録可能な成長&健康記録ページと必須知識

アイデア 13 次世代への贈り物・ギフトページ

お子さんの独立、成人、結婚、妊娠などの節目に贈るギフト

